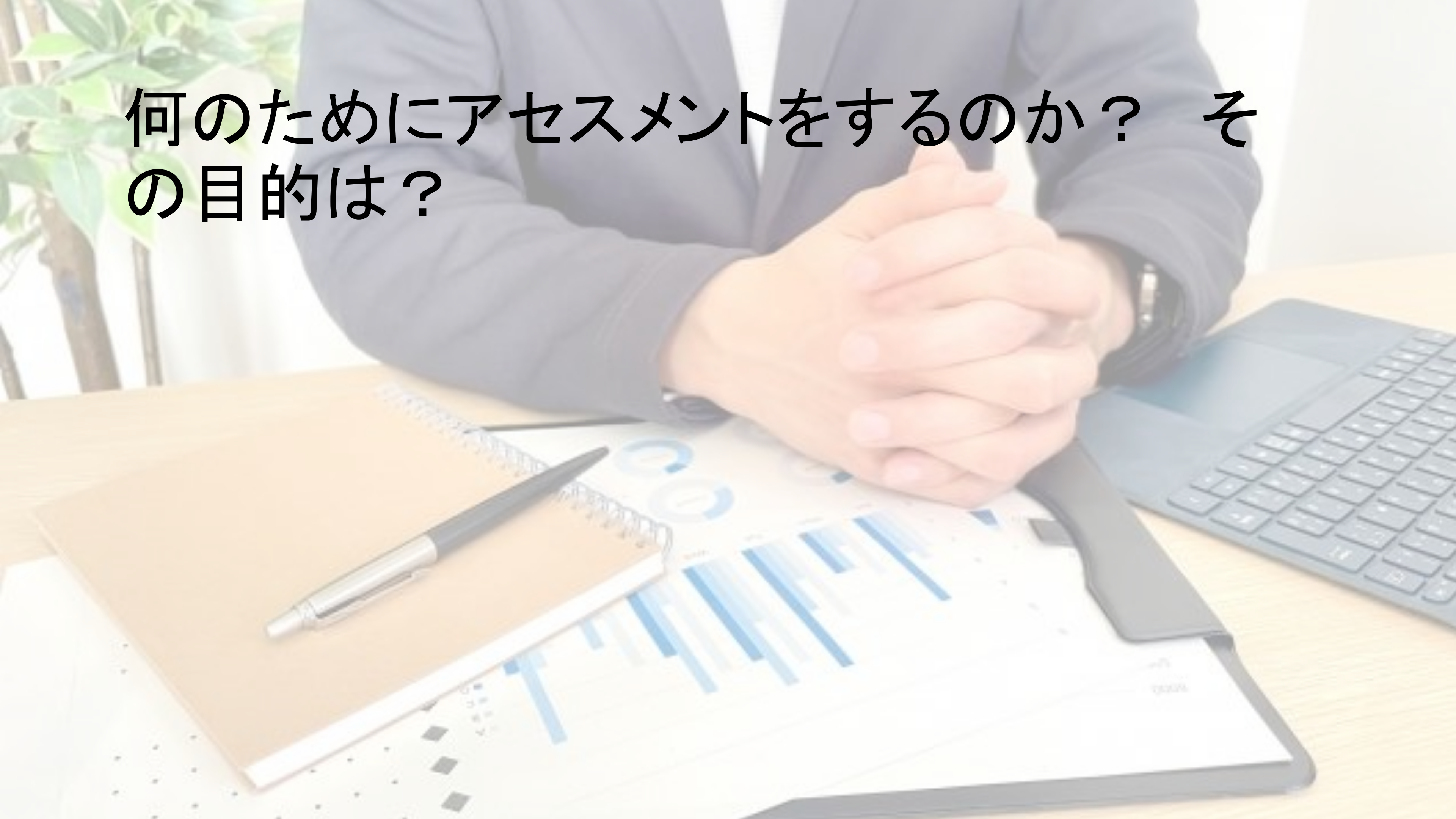


食^じべ^るこ^のの 喜^びを^支え^る 口腔アセスメント

健口チェックアセスメントシートの活用

滋賀県歯科衛生士会
社会福祉法人 日野友愛会
歯科衛生士 木下 幸子

何のためにアセスメントをするのか？ その目的は？



令和 年 月 日

食事評価シート

ユニット 氏名 様

担当者名

食事評価表				姿勢・気づいたこと・その他
口の動き	口が開く	口が開かない	口から出す	
むせる	口に入れてすぐ	飲み込んだ後	少し時間経ってから	
嚥下状態	すぐ飲み込む	なかなか飲み込まない		
口の中の状態	口の中に残らない	口の中の残る		
呼吸	早い	ゆっくり		
意識	目は開いている	傾眠傾向		
声	はっきりしている	がらがらしている	かすれてる	
食べ方	ペースが早い	食べこぼしが多い	ペースが遅い	

とにかくよく観察することが大事・・・



	チェック項目	該当は ○印	メモ (部位・気づいたこと等)	多職種連携による援助の方向性と内容	
1	最近1年間に、(誤嚥性)肺炎が原因で入院したことがある。			※毎日の口腔ケア ◆口腔機能向上体操 (飲み込む機能などの低下を予防する) ◆口腔ケア (嚥下反射を高める、口腔内細菌による感染の予防)	※定期的な口腔管理 (歯科健診を推奨) ◎かかりつけ歯科に定期的に口腔内の状態を見てもらえるように勧めていきましょう。 ◎また、日常的な口腔ケアや口腔機能向上体操など、何らかの援助を行っても症状が気になる(悪くなっていく)場合や、日常生活に不具合が生じる場合には、本人・家族と相談し、早めに歯科医に相談しましょう。
2	最近3か月間に、食べにくくて食事にかかる時間が長くなった。				
3	お茶や汁物等でむせることがある。または、飲み込みにくい。				
4	口の中に食べ残しがある。				
5	食べかす・プラーク(歯垢)がある。または、入れ歯が汚れている。			◆口腔ケア (プラークや舌苔を除去し、改善するか様子を見る) ◆入れ歯の清掃 (入れ歯を外して清掃する)	
6	歯みがき時などに出血する。				
7	舌苔(舌の汚れ)が付着している。				
8	口臭がある。				
9	日中、口の渇きが気になる。			◆唾液腺マッサージ ◆口腔ケア (粘膜ケアを行い、保湿剤利用も検討する)	
10	歯の痛みがある。 (歯の痛みを訴える)			※歯科医療機関につなげる	

口腔の機能低下を起こ
しているかも・・・



	チェック項目	該当は ○印	メモ (部位・気づいたこと等)	多職種連携による援助の方向性と内容	
1	最近1年間に、（誤嚥性）肺炎が原因で入院したことがある。			※毎日の口腔ケア ◆口腔機能向上体操 （飲み込む機能などの低下を予防する） ◆口腔ケア （嚥下反射を高める、口腔内細菌による感染の予防） ◆口腔ケア （プラークや舌苔を除去し、改善するか様子を見る） ◆入れ歯の清掃 （入れ歯を外して清掃する） ◆唾液腺マッサージ ◆口腔ケア （粘膜ケアを行い、保湿剤利用も検討する）	※定期的な口腔管理 （歯科健診を推奨） ◎かかりつけ歯科に定期的に口腔内の状態を見てもらえるように勧めていきましょう。 ◎また、日常的な口腔ケアや口腔機能向上体操など、何らかの援助を行っても症状が気になる（悪くなっていく）場合や、日常生活に不具合が生じる場合には、本人・家族と相談し、早めに歯科医に相談しましょう。
2	最近3か月間に、食べにくくて食事にかかる時間が長くなった。				
3	お茶や汁物等でむせることがある。または、飲み込みにくい。				
4	口の中に食べ残しがある。				
5	食べかす・プラーク（歯垢）がある。または、入れ歯が汚れている。				
6	歯みがき時などに出血する。				
7	舌苔（舌の汚れ）が付着している。				
8	口臭がある。				
9	日中、口の渇きが気になる。				
10	歯の痛みがある。 （歯の痛みを訴える）			※歯科医療機関につなげる	

舌苔がたくさんある人は 嚥下障害の症状が出ているかも！



- ・舌の動きが悪い
- ・舌圧が弱い
- ・ほとんど咀嚼せず丸のみ

図1 流動食による舌苔の増加
4週間流動食を摂取すると、舌苔が増加した

	チェック項目	該当は ○印	メモ (部位・気づいたこと等)	多職種連携による援助の方向性と内容	
1	最近1年間に、（誤嚥性）肺炎が原因で入院したことがある。			※毎日の口腔ケア ◆口腔機能向上体操 （飲み込む機能などの低下を予防する） ◆口腔ケア （嚥下反射を高める、口腔内細菌による感染の予防） ◆口腔ケア （プラークや舌苔を除去し、改善するか様子を見る） ◆入れ歯の清掃 （入れ歯を外して清掃する） ◆唾液腺マッサージ ◆口腔ケア （粘膜ケアを行い、保湿剤利用も検討する）	※定期的な口腔管理 （歯科健診を推奨） ◎かかりつけ歯科に定期的に口腔内の状態を見てもらえるように勧めていきましょう。 ◎また、日常的な口腔ケアや口腔機能向上体操など、何らかの援助を行っても症状が気になる（悪くなっていく）場合や、日常生活に不具合が生じる場合には、本人・家族と相談し、早めに歯科医に相談しましょう。
2	最近3か月間に、食べにくくて食事にかかる時間が長くなった。				
3	お茶や汁物等でむせることがある。または、飲み込みにくい。				
4	口の中に食べ残しがある。				
5	食べかす・プラーク（歯垢）がある。または、入れ歯が汚れている。				
6	歯みがき時などに出血する。				
7	舌苔（舌の汚れ）が付着している。				
8	口臭がある。				
9	日中、口の渇きが気になる。				
10	歯の痛みがある。 （歯の痛みを訴える）			※歯科医療機関につなげる	



気軽に相談してください！！

- ・歯科医師 歯科衛生士が専門的な口腔衛生管理や口腔機能向上訓練を行います。
- ・口腔ケアは最期まで必要なケアです。
- ・もしもお口から食べられなくなったとしたら、ますます必要なケアになります。